

前期通知表が配付されました

先週の10月3日（金）、前期通知表が配付されました。結果は人それぞれ、心情は悲喜こもごもと思いますが、この半年間頑張ってきた成果です。素直な気持ちで受け止め、反省点があれば今後に生かしてほしいと思います。



その結果を受けて、私立高校を第一希望にしている生徒はどこの学校をどういう形式で出願するのか、本格的に検討することになります。進路だより第33号で紹介したように、単願・専願・学校推薦・自己推薦と様々な形式があります。共通しているのは、「合格したら、必ずその学校に入学します。」と約束して受験することですが、それぞれで違いがあります。進路学活でも説明していますが、今一度おさらいをしておこうと思います。

<単願・専願>

ほとんど同じようなものですが、単願はその学校のみ受験、専願は公立との併願も可能な代わりに、合格した場合は必ず入学することを約束し受験することです。出願には一定の成績や欠席日数の基準がありますが、推薦受験や一般受験よりも有利な条件になっている場合がほとんどです。

（推薦・自己推薦も含め、担任の先生が詳しい資料を持っています。）とくに書類を提出したりする必要はありません。出願時に願書にチェックを入れるだけです。最近は面接のみで合否を決める学校が増えてきましたが、筆記試験がない分、普段の成績が大切です。

<学校推薦>

全ての公立高校、高等専門学校が自己推薦に切り替わったので、学校推薦を行う学校は一部の私立高校のみになります。出願には中学校内の推薦基準と、高校側が示している基準や要件（どんな生徒を推薦してほしいか）に適合していることが条件ですが、高校側の基準・要件は単願・専願・一般よりも厳しくなっている学校がほとんどです。スポーツ推薦であるならば単に「部活を頑張る。」ではなく、「全道・全国大会を目指す。」くらいの技量と気構えが必要です。学力推薦であるならば、一般生徒より高い学習意欲と勉強に取り組む覚悟が求められます。「推薦依頼書」という書類を学校に提出することになりますが、10月3日付けの学年Classroomに、推薦依頼書の書式を載せておきました。希望者は見ておいてください。この書類に誤字・脱字があったり、志望理由など内容が不明確な場合は書き直しになったりすることもあります。入学後の目標や特に取り組みたいこと、中学校での活動についての自己アピール（学級活動、生徒会活動、行事、部活動、資格や検定試験）なども書いてもらいます。熱い思いにあふれた依頼書を期待しています。また、学校推薦の生徒は高校側からリーダーとして期待される場合が多く、様々な仕事を依頼されることも多々あると聞いています。それに応えようとする気持ちがあることも、大切な要素です。出願時には中学校から高校側に「推薦書」という書類を提出しますが、それを書くのは担任の先生です。希望者は、まず担任の先生と相談してください。今後の日程は、進路だより33号を御覧ください。



＜自己推薦＞

札幌第一、立命館慶祥、札幌日大、山の手など、推薦を自己推薦に変える学校が増えてきました。推薦依頼書を書いたり、校長面接を行うなどの手続きを踏む必要はありません。（各学校ごとの「自己推薦書」を提出する必要があります。本人が記入します。）公立の自己推薦同様、スクール・ポリシーをよく読み、志望理由や高校で頑張りたいことを整理しておきましょう。公立の自己推薦と異なるのは、高校が示す成績や欠席日数の基準に適合しなければ出願できないことです。最近は募集要項に単願・専願・推薦・自己推薦の基準を載せる学校が増えてきました。令和8年度の募集要項は、ほとんどの高校で完成し、ホームページ等に掲載されています。よく読んでおきましょう。

すべての出願形式に言えることですが、私立高校を第一希望にしている生徒にのみ与えられる特待制度を設けている学校があります。出願前に書類提出を締め切る学校もあるので、よく調べて「うっかり忘れていた」ということが無いようにしましょう。

また、残念ながら前期末で専願・単願等の基準に達しなかった生徒は、2月に行われる一般受験で得点を取り入学するという方法もあります。（それが本来の受験です）また、学校によっては2月単願という学年末の成績で出願できる高校もあります。募集要項で確認しましょう。さらに一部の学校ではありますが、成績が基準に満たない場合でも、複数回の面接や与えられた課題を克服することで、出願資格をもらえる学校もあります。今なら間に合いますので、担任の先生とよく相談してください。

この時期、教育相談期間の設定はありませんが、相談が必要と感じている生徒はたくさんいると思います。「待ち」の姿勢ではなく、自分から積極的に担任の先生と相談するようにしましょう。今週、来週あたりがその時期だと思います。

札幌龍谷高等学校【私立 B】 第3回オープンハイスクール

日時：10月18日（土）10：00～12：00（受付 9：10～）

場所：札幌龍谷高等学校（中央区北4条西19丁目1-2） 対象：中学生、保護者

内容：全体会、部活動・授業体験、個別相談会 SRG きつぷ保護者説明会

申込方法：龍谷高等学校のホームページから申し込んでください 10月3日配付のチラシを御覧ください。

札幌工業高等学校【道立定時制】 定時制学校説明会

日時：10月24日（金）17：30～20：20（受付 17：00～）

対象：中学生、保護者 場所：札幌工業高等学校（北区北20条西13丁目）

内容：学校紹介、校舎案内、授業見学、体験学習

申込方法：10月3日の Classroom にある添付資料から申し込んでください。10月2日（木）から16日（木）19：00までが受付期間です。10月3日の Classroom を御覧ください。

札幌新陽高等学校【私立 A】 第2回オープンキャンパス

日時：10月25日（土）10：00～13：00（受付 9：15～）

場所：札幌新陽高等学校（南区澄川5条7丁目1番1号） 対象：中学生、保護者

内容：全体会、授業体験、制服紹介、保護者説明会、部活動見学、個別相談会など

申込方法：新陽高校のホームページから Web で申し込んでください。新陽パスポート（単願・一般入試を問いません。）第2期エントリーは、9月8日から10月25日が申請期間、セミナーは10月25日、11月8日、11月22日です。